

令和8年2月17日

## 寺田圭准教授が2025年度日本養豚学会賞 第56回丹羽賞（学術賞）を受賞

食農学類の寺田圭准教授が、2025年度日本養豚学会賞において「第56回丹羽賞（学術賞）」を受賞しました。

豚の背脂肪厚を正確に測定する新技術の開発と、それをを用いた静岡県産の銘柄豚「フジキンカ」の枝肉取引基準の提案が、養豚分野の学術研究および産業の発展に大きく貢献したことが高く評価され、このたびの受賞へと至りました。

### 【受賞業績】

生体インピーダンス法による背脂肪厚測定法の開発及び銘柄豚『フジキンカ』の枝肉取引基準の提案

### 【丹羽賞(学術賞)とは】

丹羽賞は、養豚に関する学術研究において顕著な業績をあげ、その主要成果を日本養豚学会で公表した会員に贈られる名誉ある賞です。

### 【受賞業績の説明と評価】

寺田圭准教授は、電気抵抗を利用して生体の組成を推測する「生体インピーダンス法」を応用し、より正確な背脂肪厚の測定法を確立。さらに、銘柄豚「フジキンカ」の品質を支える枝肉取引基準を提案するなど、学術・産業の両面における貢献が高く評価されました。

### 【受賞者のコメント】

このたびは、第56回丹羽賞(学術賞)という大変名誉ある賞を賜り、心より感謝申し上げます。本研究は、静岡県の畜産技術研究所中小家畜研究センターに在職していた当時、養豚現場の課題解決を目指して生産者や関係機関の皆様とともに進めてきた成果であり、生体インピーダンス法による背脂肪厚測定や銘柄豚「フジキンカ」の枝肉取引基準の提案は、多くの現場の協力に支えられたものです。現在は福島大学において教育・研究に携わっておりますが、本受賞を励みとして、これまでの知見をさらに発展させ、地域畜産の発展と次世代人材の育成に貢献していきたいと考えております。

なお、本賞は第124回日本養豚学会大会において、以下の日程で授賞式および受賞講演が行われる予定です。

日時：2026年3月5日(木)

場所：明治大学生田キャンパス中央校舎 6F0608 ディアホール

(お問い合わせ先)

食農学類・准教授 寺田圭

電話：024-503-4977

メール：teradakei@agri.fukushima-u.ac.jp